

咽頭結膜熱

🔍 病気の説明 (どんな病気?)

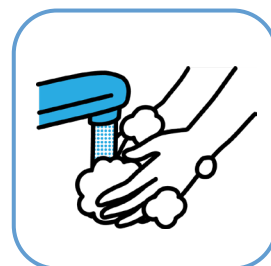
アデノウイルスによる目やのどの急性炎症を起こす感染症です。夏に多く発生しますが、近年は冬に小さな流行があります。発熱、咽頭痛、結膜充血・眼痛・目やに・まぶしがる・涙が出るなどといった眼の症状が3~5日持続します。主に幼児・児童に好発し、5歳以下で約6割を占めています。

🔍 予防 (感染はどう防ぐ?)

飛沫感染(咳、くしゃみなど)、接触感染(感染者の飛沫などに触れた手で、目・口・鼻などの粘膜を触ることによる)です。

潜伏期間は5~7日です。

予防には咳エチケットと手洗いが重要です。家庭内では、タオルや枕など、目やにや涙で汚染する可能性がある物の共用は避けましょう。アルコールは効きにくいいため、日常的に触れるおもちゃなどの環境消毒には、次亜塩素酸ナトリウムを用います。感染者の入浴は、家庭内で最後にするか、シャワーのみにします。



🔍 治療 (感染したときは?)

基本的に対症療法です。眼症状が強い場合には、眼科的治療が必要になることもあります。

🔍 登園・登校の基準

発熱、咽頭炎、結膜炎などの主要症状が消退した後2日を経過するまでは出席停止とされています。

🔍 詳しく知りたい方は [咽頭結膜熱について | メディカルノート \(medicalnote.jp\)](https://medicalnote.jp)

🔍 横浜市の流行状況 [横浜市感染症情報センター 横浜市 \(yokohama.lg.jp\)](https://yokohama.lg.jp)

